3-224-742-**01(2)**

SONY

# コードレスステレオ ヘッドホンシステム

## 取扱説明書

**お買い上げいただき、ありがとうございます。**

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故 を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# MDR-IF630RK



## ⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### •安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

### •定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### •故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

### •万一、異常が起きたら

**変な音・においがしたら、煙が出たら**

➊ **電源を切る**
➋ **ACパワーアダプターをコンセントから抜く**
➌ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

### 警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を指示する記号

行為を禁止する記号

**⚠警告　下記の注意を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。**

### 運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

### この製品を海外で使用しない

ACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

### 雷が鳴りだしたら、充電用接点や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

### 指定以外のACパワーアダプターを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

**⚠注意　下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

### ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

### 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

### はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ミニディスク、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

### 通電中のACパワーアダプターや充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

### 本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

### 電池についての安全上のご注意

この機器は充電式ニッケル水素電池を使用します。漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。

## ヘッドホンを廃棄するときは

環境保護のため、ヘッドホンから内蔵充電池を取りはずし、適宜処理してください。

① 左側のヘッドホンのイヤーパッドを取り、ハウジングの4本のネジをはずし、ハウジングを開けます。

② 電池ボックスと基板の計3本のネジをはずし、基板ごと電池ボックスを取りはずします。

③ 電池ボックスを裏返し、後ろの穴から押し出すようにして電池を取りはずしてください。

⚠注意

**電池ボックスには基板がついています。**
**取り扱いの際には、電池ボックス(黒い樹脂)を持って取りはずしてください。**

## 主な仕様

### 一般仕様

| | |
|---|---|
| 変調方式 | 周波数変調 |
| 搬送波周波数 | 右チャンネル　2.8MHz<br>左チャンネル　2.3MHz |

### トランスミッター

| | |
|---|---|
| 電源 | DC 9V（付属のACパワーアダプターを使用） |
| 音声入力端子 | ピンジャック/ステレオミニジャック |
| 最大外形寸法 | 約130×135×150mm（幅/高さ/奥行き） |
| 質量 | 約200g |
| 赤外線到達距離 | 正面10m |

### ヘッドホン

| | |
|---|---|
| 周波数特性 | 12～24,000Hz |
| 電源 | ヘッドホン内蔵の充電式ニッケル水素電池 |
| 質量 | 約310g |
| 形式 | 密閉ダイナミック型 |
| ドライバーユニット口径 | 30mm |

### 付属品

ACパワーアダプター（1）、プラグアダプター（ステレオミニジャック⇔ステレオ標準プラグ）（1）、接続コード（約1m, ステレオミニプラグ×1⇔ピンプラグ×2）（1）、取扱説明書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）、保証書（1）

### 別売りアクセサリー

- 付属のコードをイヤホン端子につないで、右チャンネルの音がでないとき
  プラグアダプターPC-236MS（ステレオミニジャック⇔モノラルミニプラグ）
- 付属の接続コードの長さが、使用状況に合わないとき
  接続コード RK-C305（0.5m, ピンプラグ×2⇔ピンプラグ×2）
  RK-C310（1m, ピンプラグ×2⇔ピンプラグ×2）
  RK-C320（2m, ピンプラグ×2⇔ピンプラグ×2）
- 付属のコードをなくしてしまったとき
  接続コード RK-G129（1.5m, ステレオミニプラグ×1⇔ピンプラグ×2）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*ご注意*

製品上のCEマークはEU加盟国で販売されるもののみに有効です。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社ではコードレスステレオヘッドホンシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。


ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax …………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00


http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

## 主な特長

本機は赤外線を使用したコードレスステレオヘッドホンシステムです。トランスミッターをヘッドホン端子、または音声出力端子のあるテレビやオーディオ機器に接続するだけで、ヘッドホンコードにわずらわされることなく、手軽にお使いいただけます。

- 外来ノイズなどの影響を受けにくい赤外線を利用した、コードレスステレオヘッドホンシステム
- 最大10mまでの広い赤外線到達範囲
- ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構を採用
- 伝送ノイズを抑えてクリアな音を再生する<ノイズリダクション伝送方式>採用
- 人の声をより聞き取りやすくする<声強調モード>を選べる音声切り換えスイッチ付き
- ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン/オフ機能
- ヘッドホンの左右の音量を連動して調整できる、操作しやすい大きさのVOL（ボリューム）つまみ
- ヘッドホンの電源は、充電式内蔵ニッケル水素電池

## このヘッドホンシステムについて

このヘッドホンシステムはノイズリダクション伝送方式を採用していない他のコードレスヘッドホンシステムシリーズのヘッドホンやトランスミッターと組み合わせてお使いいただけません。

## まず充電を！

本機は充電式のヘッドホンです。お買い上げ時には充電されていません。お使いになる前に、必ず充電を行ってください。充電のしかたは、以下の「ヘッドホンを充電する」をご覧ください。

## 赤外線方式について

トランスミッターからの赤外線の届く範囲はおおよそ下図のとおりです。

*ご注意*

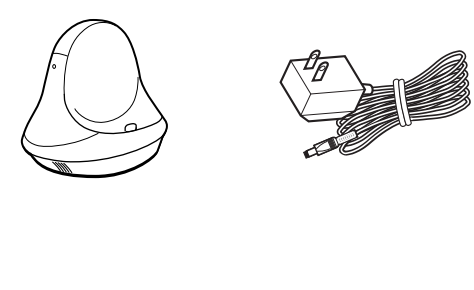
- このシステムは赤外線を使用しているため、上図の範囲内であっても、ヘッドホンがトランスミッターから離れるにしたがって雑音（ヒスノイズ）が増えます。また、赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
- 赤外線受光部を手や髪でおおわないでください。
- トランスミッターはヘッドホンに対して前方、後方、横方向に置いてもヘッドホンをお使いになる位置が図の範囲内であればお使いになれます。
- トランスミッターの位置や、お使いになる場所の状況によって、聞こえかたが異なります。なるべく聞こえやすい位置でお使いになることをおすすめします。

► *準備*

## 確認しましょう

はじめに内容物の確認をしてください。

• トランスミッター

• ACパワーアダプター

• 接続コード
（ピンプラグ⇔ステレオミニプラグ、1m）

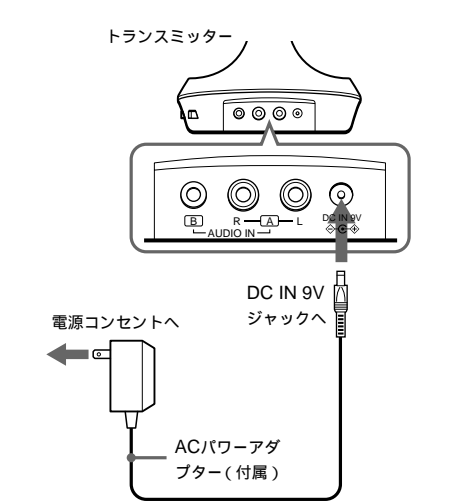
• プラグアダプター

• ヘッドホン

## ヘッドホンを充電する

**はじめてヘッドホンをお使いになる場合は**

ヘッドホンは充電式になっています。はじめてヘッドホンをお使いになる場合は、次の手順にしたがって充電を行ってください。

**1 トランスミッターに電源をつなぐ。**

**2 トランスミッターの突起がヘッドホン下部の充電用の穴におさまるようにヘッドホンをトランスミッターに置く。**

充電ランプが緑色に点灯します。
充電完了（約14時間経過）後、充電ランプが消灯します。

**充電ランプが点灯しない場合は**

トランスミッターの突起がヘッドホンの充電用の穴と正しく接続しているか、ヘッドホンの位置を確認してください。

**ヘッドホンをお使いになったあと再充電するには**

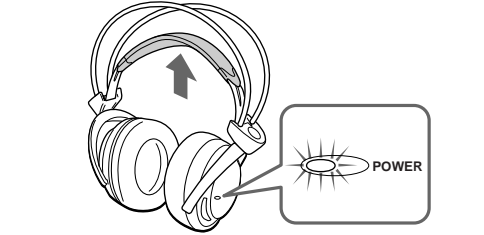
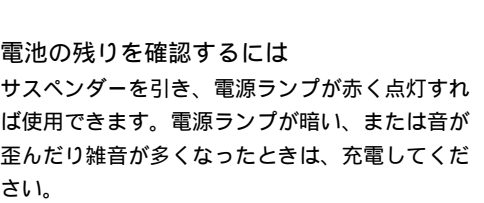
本機は内蔵タイマーにより充電を完了しますので、ヘッドホンをトランスミッターに置いたままでも充電のしすぎによって故障することはありません。ヘッドホンを使わないときはいつもトランスミッターの上に置いておくことをおすすめします。

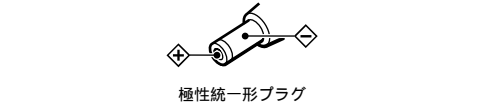
**充電の目安と使用時間**

| 充電時間 | 使用時間* |
|---|---|
| 約1時間 | 約3時間 |
| 約14時間** | 約33時間 |

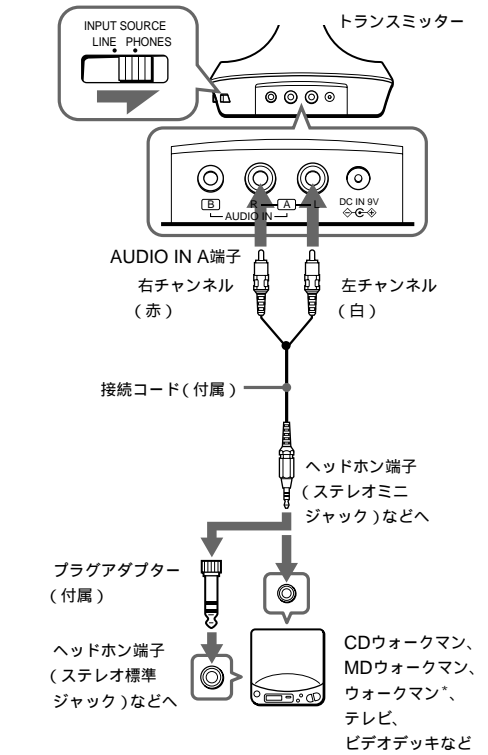
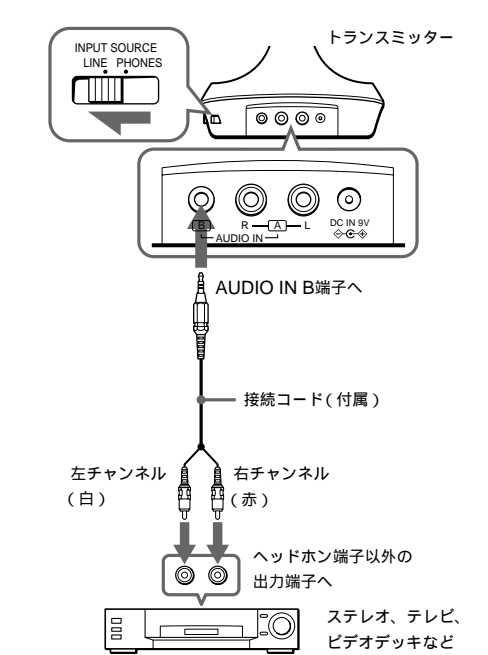
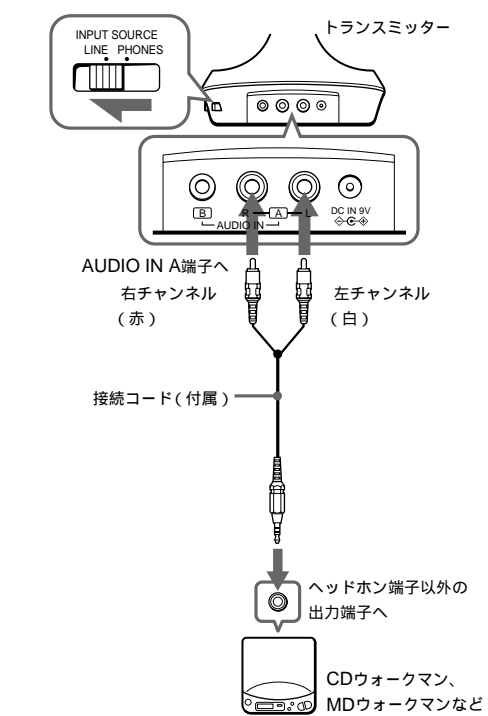
* 1kHz, 1mW+1mW出力時
** 充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間

**電池の残りを確認するには**

サスペンダーを引き、電源ランプが赤く点灯すれば使用できます。電源ランプが暗い、または音が歪んだり雑音が多くなったときは、充電してください。

*ご注意*
• 充電中はトランスミッターの電源が自動的にOFFになります。
• この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

極性統一形プラグ

## トランスミッターを設置する

**1 トランスミッターをAV機器につなぐ。**
AV機器の出力端子の種類に合わせてⒶまたはⒷを選んでください。

Ⓐ ヘッドホン端子につなぐ場合
INPUT SOURCEスイッチをPHONESにします。

Ⓑ ヘッドホン端子以外の出力端子につなぐ場合
INPUT SOURCEスイッチをLINEにします。

**2 トランスミッターに電源をつなぐ。**

*ご注意*
• AUDIO IN端子は、A、またはBどちらか片方の端子だけをお使いください。両方の端子に2台のAV機器を同時につなぐと、両方の信号がミックスされて再生されます。
• 接続コードをイヤホン端子（モノラルミニジャック）に直接つないだ場合は、右チャンネルの音が出ないことがあります。このときは別売りのプラグアダプターPC-236MS（ステレオミニジャック⇔モノラルミニプラグ）を接続コードとイヤホン端子の間につないでください。

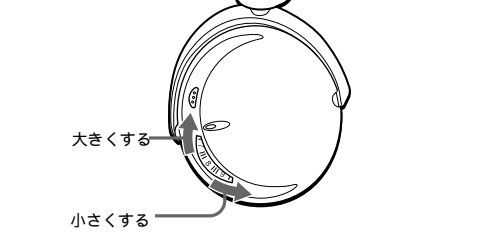
* ウォークマンはソニー（株）の登録商標です。

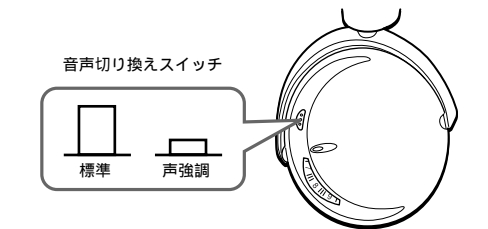
► *使いかた*

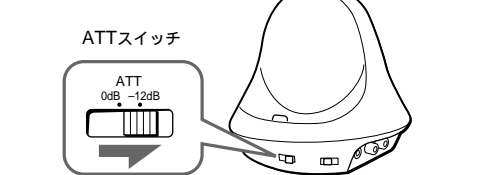
## 音声を聞く

**1 トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れます。**
つないだAV機器から音声信号が入力されるとトランスミッターの電源が自動的に入り、赤外線発光部が点灯します。トランスミッターをヘッドホン端子に接続した場合は、**接続した機器のボリュームを、音がひずまない範囲でなるべく大きくしてください。**

**2 ヘッドホンをかける。**
電源ランプが赤色に点灯し、自動的に電源が入ります。

**3 音量を調節する。**

**人の声を聞き取りやすくするには（声強調モード）**

音声切り換えスイッチを押すと、人の声を強調させて聞くことができます。
もう一度音声切り換えスイッチを押すと、声強調モードが解除され、標準の音質に戻ります。

**ATTスイッチについて**

トランスミッターをヘッドホン端子以外の出力端子につないで使用した場合で、大音量時に音声がひずむときは、トランスミッターのATT（アッテネーター）スイッチを-12dBに切り換えてご使用ください。出荷時の設定では0dBになっています。

**ヘッドホンをはずすと自動的に電源が切れます — オートパワーオン/オフ機能**

お使いにならないときは、サスペンダーが引き上げられた状態にならないようにご注意ください。電源が入ったままになります

**ヘッドホンから音が聞こえないときは — ミュート機能**

赤外線の届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりして雑音が増えると、自動的にミュート機能が働きヘッドホンから音が聞こえなくなります。トランスミッターに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

**約5分以上音声信号が入力されないと**

トランスミッターの電源が自動的に切れます。

**音声信号が途切れたり、非常に小さい音が約5分以上続くと**

トランスミッターの電源が切れることがあります。この場合は接続した機器の音量を上げ、ヘッドホンの音量を下げてお使いください。

**お使いになったあとは**

ヘッドホンをはずし、トランスミッターの上に置いてください。次にAV機器の電源を切ります。トランスミッターの電源はAV機器から音声信号が入力されなくなってから約5分後に自動的に切れます。

*ご注意*
トランスミッターの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能には影響ありません。

► *その他*

## 使用上のご注意

**取り扱いについて**

トランスミッター、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

**次のような所には置かないでください**

• 直射日光があたる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所（なるべく5℃～35℃の範囲でご使用ください。）
• 風呂場など、湿気の多い所

**ヘッドホンについて**

**耳を守るために**

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

**まわりの人のことを考えて**

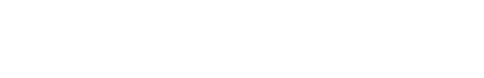
ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

**異常や不具合が起きたら**

• 万一異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。
• お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちになる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターを一緒にお持ちください。

⚠注意

**ヘッドホンを使用中、肌に合わないと感じたときは、早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。**

## イヤーパッドを交換する

イヤーパッドは消耗品です。汚れたり破損した場合は、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせください。

## 故障とお考えになる前に

**音が出ない。**

➡ トランスミッターとAV機器、ACパワーアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認する。
➡ トランスミッターにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
　• トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
➡ ミュート機能が働いている。
　• トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
　• なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。
　• トランスミッターの位置や角度を変える。
➡ ヘッドホンの電源ランプが暗いまたは消灯している。
　• 充電池が消耗しているので充電をする。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。
➡ トランスミッターのINPUT SOURCEスイッチの設定が合っているか確認する。

**音が小さい。**

➡ トランスミッターのATTスイッチを0dBに切り換える。

**音がひずむ。**

➡ トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続したAV機器の音量を下げる。
➡ トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子以外の出力端子につないだ場合は、ATTスイッチを-12dBに切り換える。
➡ ヘッドホンの電源ランプが暗いまたは消灯している。
　• 充電池が消耗しているので充電をする。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。
➡ トランスミッターのINPUT SOURCEスイッチの設定が合っているか確認する。
➡ トランスミッターとノイズリダクション伝送方式を採用していない他のヘッドホンシステムのヘッドホンを組み合わせて使っている。
➡ ヘッドホンとノイズリダクション伝送方式を採用していない他のヘッドホンシステムのトランスミッターを組み合わせて使っている。

**雑音が多い。**

➡ トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
➡ トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
➡ 赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。
➡ 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または、直射日光の当たらない場所で使う。
➡ トランスミッターの位置や角度を変える。
➡ トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
➡ ヘッドホンの電源ランプが暗いまたは消灯している。
　• 充電池が消耗しているので充電をする。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。
➡ すでに別のトランスミッターをお持ちのときは、同時に2台以上のトランスミッターを使っていないか確認する。
　• 他のトランスミッターの電源を切るか、赤外線の届かない所へ移動する。
➡ 接続したAV機器から雑音が出ている。
　• トランスミッターのINPUT SOURCEスイッチの設定が合っているか確認する。
　• トランスミッターの電源を入れたまま、つないでいる接続コードをはずしてヘッドホンから雑音が出ているか確認する。雑音が出なくなったら、接続した機器に雑音の原因があります。